

4月の政治・経済イベント

重要 01 新型コロナウイルスに対する各国の行動制限措置の行方

感染が世界的に拡大したことに対し、各国は人々の行動を制限する様々な措置を打ち出しています。ただ、そのことにより経済的活動は大幅に落ち込んでいくと見られます。今後は感染拡大の状況を見ながら、いつ、どのような形で制限措置の緩和を図るかが各国の重要な政治判断となります。その点では、日々の新たな感染確認数などの動向が注目されます。

重要 02 大統領選挙を睨んだ米国の政治情勢

米国大統領選挙の予備選（共和・民主両党の大統領候補選出のための選挙）では、野党民主党の候補がバイデン前副大統領にほぼ絞り込まれたようです。これによりトランプ対バイデンの構図が固まってきました。トランプ大統領は、自らの支持率の動向に注目していると考えられます。感染拡大に米国民が不安を感じ、トランプ大統領の支持率が低下すれば、感染抑止措置や経済政策において新たな手立てを打ち出す可能性があります。

重要 03 各種経済指標から経済的影響を確認

各国で1-3月期や3、4月の主要経済指標が発表されることで、感染拡大に対する行動制限措置の経済的影響の大きさが判断できるようになってくるでしょう。経済全体への影響だけでなく、分野別の影響の判断も重要です。それを受けた各国の追加的な金融・財政政策の動きも注目されます。個々の企業の業績やその見通しの発表にも注意が必要です。

4月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(水)	日本 	3月調査日銀短観（全国企業短期経済観測調査）
1日(水)	米国 	ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数（3月）
3日(金)	米国 	雇用統計、ISM非製造業景況感指数（3月）
15日(水)	米国 	鉱工業生産指数、小売売上高（3月）
17日(金)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（3月）、1-3月期GDP
17日頃		IMF（国際通貨基金）世界経済見通し発表（予定）
28日(火)	日本 	失業率、有効求人倍率（3月）、金融政策発表
29日(水)	米国 	1-3月期GDP（速報値）、金融政策発表
30日(木)	日本 	鉱工業生産指数、小売売上高（3月）
30日(木)	ユーロ圏 	1-3月期GDP（速報値）、金融政策発表

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。